２．内科系ユニット

＜心臓病センター＞

A.一般目標

循環器系疾患のプライマリーケアーが実践できるために、循環器系疾患に関連した基本的な知識、態度、技能を修得し、頻度の高い疾患に対応できる能力を養う。

B.行動目標、方法および評価

行動目標		研修方法	評価方法
身体診察法	全身の観察ができ、記載できる	実習	カルテ評価
	胸部の診察ができ、記載できる	実習､ｼﾐﾚｰｼｮﾝ	カルテ評価
	心音の聴診ができ、記載ができる	実習､ｼﾐﾚｰｼｮﾝ	カルテ評価
基本的な臨床検査	D12 誘導心電図（手技と解釈）	実習	実地試験、口頭試問
	負荷心電図（手技と解釈）	実習	
	胸部単純 X 線（解釈）	実習	口頭試問
	ホルター心電図（解釈）	実習	口頭試験
	モニター心電図（解釈）	実習	口頭試験
	D心臓超音波検査（手技と解釈）	実習	実地試験、口頭試問
	心臓、血管に関する CT 検査（解釈）	実習	口頭試問
	心臓核医学検査（解釈）	実習	口頭試問
	心臓カテーテル検査	経験	観察
	集中治療室におけるベットサイドスワンガンツ検査（解釈）	実習	口頭試問
	電気生理学的検査	見学	口頭試問
手技	直流除細動を実施できる	ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ､実習	観察
治療法	療養指導（安静度、食事、飲水）ができる	実習	カルテ評価
	薬物（強心薬、血管拡張薬、抗不整脈薬）を理解し、治療ができる	実習、自習	口頭試問
医療記録	診療録を POS に従って記載し管理できる	実習	カルテ評価
	処方箋、指示書を作成し管理できる	実習	カルテ評価
	診断書を作成し管理できる	実習	カルテ評価
	CPC ﾚﾎﾟｰﾄを作成し症例提示できる	実習	カルテ評価
	紹介状、返信を作成し管理できる	実習	カルテ評価

	行動目標	研修方法	評価方法
頻度・緊急度の高い症状・	R 胸痛	担当医として実習	ﾚﾎﾟｰﾄ
	R 動悸	担当医として実習	ﾚﾎﾟｰﾄ
	R 呼吸困難	担当医として実習	ﾚﾎﾟｰﾄ
	R 浮腫	担当医として実習	ﾚﾎﾟｰﾄ
	急性心不全	実習	観察
	急性冠症候群	実習	観察
経験すべき疾患	A 心不全	担当医として実習 講義（担当　　）	ﾚﾎﾟｰﾄ
	B 狭心症、心筋梗塞	担当医として実習 講義（担当　　）	口頭試問
	C 心筋症	担当医として実習	口頭試問
	B 不整脈	担当医として実習	口頭試問
	C 弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）	担当医として実習	口頭試問
	B 動脈疾患（動脈硬化症、動脈瘤）	担当医として実習	口頭試問
	C 静脈疾患（深部静脈血栓症、静脈瘤）	講義（担当　　）	口頭試問
	A 高血圧症（本態性、二次性高血圧症）	担当医として実習 講義（担当　　）	ﾚﾎﾟｰﾄ
	R 循環器疾患の手術症例	担当医として実習	ﾚﾎﾟｰﾄ

A：入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること

B：外来診療又は受け持ち入院患者（合併症含む）で自ら経験すること

C：機会があれば経験すべき疾患

D：自ら実施し、結果を解釈できること

R：レポートを提出すること

＜循環器センター＞週間スケジュール

	月	火	水	木	金
本日の担当医	A	B	C	D	E
8:00-9:00 （必ず 9 時までに終了すること）	血液ガス採取	血液ガス採取	循環器センター抄読会 血液ガス採取	血液ガス採取	血液ガス採取
9:00-9:15	今週の研修目標（指導医） 今日の予定確認（A）	今日の研修予定確認(B)	今日の研修予定確認（C）	今日の研修予定確認（D）	今日の研修予定確認（E）
午前	担当医回診に同行	担当医回診に同行	担当医回診に同行	担当医回診に同行	担当医回診に同行
	主治医回診	主治医回診	主治医回診	主治医回診	主治医回診
		心臓カテーテル検査助手または見学	心臓カテーテル検査助手または見学		
12:00-13:00	健診心電図（判読）	健診心電図（判読）	健診心電図（判読）	健診心電図（判読）	健診心電図（判読）
昼休み					
14:00-17:30		心臓カテーテル検査助手または見学	心臓カテーテル検査助手または見学	心臓超音波検査実習または見学	トレットミル運動負荷検査
	受け持ち患者回診	受け持ち患者回診	受け持ち患者回診	受け持ち患者回診	受け持ち患者回診
17:30-17:45	本日のまとめ（A）	本日のまとめ(B)	本日のまとめ（C）	本日のまとめ（D）	今週のまとめ（指導医）
18:00-	新入院患者症例検討会	内科会（隔週） 症例発表（最終週）	生理検査症例検討会	心臓カテーテル検査症例検討会	研究会などに参加

付記

□胸痛、動悸、呼吸困難、浮腫、高血圧に関するレポートを提出すること。

□虚血性心疾患、心不全の患者は必ず経験し、レポートを提出すること。

□循環器疾患の手術症例について、診断、検査、術後管理などにつきレポートを提出すること（1 例以上）。

□ 12 誘導心電図が独自に施行でき、かつ結果の解釈ができること。

担当：A（　　月　　日）

□心臓超音波検査がある程度施行できる　担当：B（　　月　　日）

□心不全の診断と治療　担当：C（　　月　　日）

□虚血性心疾患の診断と治療、ガイドライン　担当：D（　　月　　日）

□不整脈の診断と治療　担当：E（　　月　　日）

□高血圧の診断と治療　担当：A（　　月　　日）